

2019年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業
「2019年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業推進校セミナー」

日 時：令和元年6月20日（木） 10時00分～12時00分

場 所：茨城県市町村会館 2階 大会議場

〒310-0852 水戸市笠原町 978-26

参加者数：58名

概 要：

10:00～ 開会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課課長 益子 雄行

スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課係長 軍事 菜実子

10:05～ 2019年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系助教 大林 太朗

10:30～ 推進教育実践事例の紹介及び教育教材について

筑波大学体育系研究員 鈴木 王香

(休憩 10分)

11:05～ 本事業事務手続き等に関する説明

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当指導主事 白土 豊

11:30～ 質疑応答

その他（諸連絡）

11:50～ 閉会挨拶

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当係長 金子 英樹

内容詳細：

● **開会挨拶**

茨城県教育庁学校教育部保健体育課課長益子氏、スポーツ庁オリンピック・パラリンピック課係長軍事氏より開会挨拶がなされた。

● **2019年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明**

筑波大学体育系助教大林氏より、茨城県にゆかりがあり「学校体操教授要目」を設定した永井道明や日本から初めてオリンピックに出場した金栗四三、1964年東京オリンピック時のオリンピック教育等の日本のオリンピックに関する歴史的背景について紹介された。その後、本事業の概要及びオリンピック・パラリンピック教育の意義、2020年東京大会におけるオリンピック・パラリンピック教育の重要性について説明が

なされた。

- **推進教育実践事例の紹介及び教育教材について**

筑波大学体育系研究員鈴木氏より、昨年度の各地域での特徴的な実践事例紹介および教育教材の紹介がなされた。オリンピック・パラリンピック教育の5つのテーマに沿って、特徴的な実践事例の工夫や成果、実践のポイントが説明された。また、各関係団体の教材が活用方法を交えて紹介された。

- **本事業事務手続き等に関する説明**

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当指導主事白土氏より、本事業の実施スケジュールや事業費、実施報告書における留意点等について説明がなされた。

- **諸連絡**

大林氏より、アンケート調査協力、オリンピック・パラリンピアン派遣プロジェクト、「おもてなし講座」について説明された。

- **閉会挨拶**

茨城県教育庁学校教育部保健体育課スポーツ推進担当係長金子氏より閉会挨拶がなされた。



写真1. 会場の様子



写真2. 開会挨拶（益子氏）



写真 3. 開会挨拶（軍事氏）



写真 4. 概要説明（大林氏）



写真 5. 実践事例紹介（鈴木氏）



写真 6. 事業実施における説明（白土氏）